

令和2年度JEES・ソフトバンクAI人材育成奨学金
(ソフトバンクAI人材育成スカラーシップ)
募集・推薦要項

公益財団法人日本国際教育支援協会(以下「本協会」という。)では、ソフトバンク株式会社(代表取締役社長執行役員兼CEO 宮内 謙 氏)のご支援により、「JEES・ソフトバンクAI人材育成奨学金(ソフトバンクAI人材育成スカラーシップ)」(以下「本奨学金」という。)の奨学生を下記により募集する。

記

1 目的

AIが全ての産業でより幅広く活用され、各産業の在り方を変えていく時代を見据えて、今後の産業の発展を担う「AI人材」の育成に貢献することを目的とする。

2 本奨学金の寄付者及び寄付の趣旨

本奨学金の寄付者であるソフトバンク株式会社(以下「寄付者」という。)は、「情報革命で人々を幸せに」という経営理念のもと、モバイル事業やインターネット事業を行っている。本奨学金を通じて、AI人材の育成に寄与するため、AI分野を学修・研究する学生を経済的に支援すると共に、その次の世代がAIに興味を持ち、その道を志す契機となることを願い、資金を提供された。

3 応募資格

次の各号のすべてに該当する者。

- (1) 令和2年4月に、日本国内の大学(以下「大学」という。)の修士課程1年次(区分制及び一貫制博士課程の1年次を含む)に正規生として在籍予定の日本人学生及び私費外国人留学生(在留資格は「留学」に限る。)。大学は寄付者と協議の上選定した指定校とする。
- (2) 応募時点で人工知能(AI)分野(情報工学、情報科学、統計学等)の学修・研究に取り組んでおり、修士課程進学後も同分野の学修・研究に取り組む者。
- (3) 修学の目的又は計画が明確で、支援の効果が期待できる者。
- (4) 品行方正で、学業成績が優秀な者。
- (5) 令和2年4月に在籍を予定する大学の長の推薦を受けることができる者。
- (6) 日本語で面接を受けることができる者。
- (7) 社会人学生(休職中を含む)でない者。
- (8) 令和2年9月30日時点で28歳未満の者。

4 採用人数

最大100名

5 支給内容

月額奨学金	80,000円
一時金	40,000円 (一時金は令和2年7月に支給する)

6 支給期間

令和2年4月より令和3年3月まで。

7 応募・推薦方法

- (1) 本奨学金を受けようとする者(以下「応募者」という。)は、所定の様式による願書を、大学を通じて、本協会理事長(以下「理事長」という。)に提出するものとする。

- (2) 大学の長は、3に挙げる応募資格に該当する者について、8に挙げる応募・推薦書類を理事長に提出するものとする。なお、推薦人数等については、別途依頼文で示す。
- (3) 8の(1)及び(3)は、郵送するとともに、Excelデータをix@jees.or.jpにメールで送付するものとする。(手書きは受け付けない。送付するファイルの写真、署名及び捺印欄は空欄でよい。)

8 推薦書類

- (1) 願書(様式1、別紙1、別紙2。日本語で記載されたものに限る。) 1通
- (2) 応募者の写真(直近6ヶ月以内に撮影したもの。4.0cm×3.0cm、上半身、脱帽、裏面に氏名を記入し、願書の所定欄に貼付すること。) 1葉
- (3) 推薦書(様式2。推薦理由は、指導教官等が記入すること。) 1通
- (4) 学業成績証明書(提出できる最新のもので、大学又は高等専門学校在籍期間中に取得した成績がすべて記載されているもの) 1通

※日本語以外で記載されたものは和訳を添付すること。

9 応募・推薦書類の提出期限

令和2年1月9日(木)本協会必着。なお、締切期日を過ぎた場合や提出書類に不備のある場合は、受理しない。また、提出書類は一切返却しない。

10 選考方法及び結果の通知

理事長は、7の(2)により推薦された者について寄付者とともに書類及び必要に応じて面接による選考を行い、奨学生を決定する。面接は令和2年2月中に寄付者指定場所、またはオンラインで行う。結果は、令和2年3月中を目途に大学を通じて通知する。なお、採否に関する照会には応じない。

11 支給方法

本奨学金は、別に定める方法により、大学を通じて支給する。

12 受給者の義務

- (1) 受給者は、本奨学金支給期間中の学習・研究状況について、学業成績証明書と共に、奨学金受給終了後、所定の様式により、大学を通じて本協会に報告しなければならない。
- (2) 受給者は、学籍に変更があった場合、所定の様式により、大学を通じて遅滞なく届け出なければならない。
- (3) 受給者は、住所・連絡先に変更があった場合、大学在籍中は所定の様式により大学を通じて、大学卒業後は任意の様式により直接本協会へ遅滞なく届け出なければならない。
- (4) 本奨学金を受給した者は、自身の進路について、大学卒業時に所定の様式により、大学を通じて本協会へ報告しなければならない。
- (5) 受給者は、本協会又は寄付者の要請に応じ、懇親会への参加(令和2年4月末予定)、インターンシップ(令和2年7月~9月予定)への応募及びアンケートへの回答をしなければならない。
※インターンシップ参加については応募後、別途選考がある(令和2年5月~7月予定)。
※インターンシップは有給となるため、資格外活動許可を未取得の留学生は令和2年7月末までに取得すること。

13 本奨学金給付の休止又は終了及び決定取消

- (1) 受給者が大学を長期欠席(1か月以上)した場合は、本奨学金の支給を休止する。なお、休止事由が止んで、所定の様式により奨学金支給の再開を願い出たときは、6に記載した奨学金の支給期間において奨学金の支給を再開することがある。但し、6の支給期間は延長しない。
- (2) 受給者が、次の①から④のいずれかに該当した場合には、本奨学金の支給を終了する。
 - ① 大学を卒業、退学、休学または留年した場合。
 - ② 本奨学金受給者の義務を怠った場合。
 - ③ 募集・推薦要項の定める事項に該当しなくなった場合。
 - ④ その他受給者として相応しくないと判断された場合。

- (3) 寄付者からの寄付が滞った場合、事前通知のうえ、休止又は終了する。
- (4) 応募・推薦書類の記載事項に虚偽のある場合は、本奨学金の支給決定を取り消す。

14 その他(注意事項等)

- (1) 受給者は、原則として、本奨学金の返還義務を負わない。ただし、13に挙げる事項に該当する場合、すでに支給している奨学金の返還を求める場合がある。また、本奨学金寄付者への入社その他の付帯義務を負うものではない。
- (2) 本奨学金受給決定(本奨学金採用決定通知を大学が受領した時点)前に他の奨学金の受給が決定した場合、大学を通じて本協会に速やかにその旨通知しなければならない。また、本奨学金奨学生として採用された場合、受給期間終了まで本奨学金を辞退し、他の奨学金を受給することはできない。
- (3) 本奨学金は他の併給を認める奨学金の受給を妨げない。
- (4) 所属大学の留学制度等を利用して海外に留学する場合、長期欠席または休学の扱いとならなければ、支給を継続する。

15 個人情報の取扱い

(1) 個人情報の管理

本協会は、本奨学金に関連して取得した願書・報告書等に記載される全ての個人情報を本協会の個人情報保護方針に基づき、本奨学金寄付者と共同して、細心の注意のもと管理・利用・破棄する。また、あらかじめ本人の同意がない限り、個人情報を他の第三者へ開示・提供しない。

(2) 個人情報の利用目的

本協会及び本奨学金寄付者は、本奨学金に関連して取得した個人情報を適切に管理し、下記以外の目的には利用しない。

- ① 奨学生を選考するため。
- ② 本奨学金支給事務のため。
- ③ 本奨学金懇親会・インターンシップ・イベント・アンケート等を実施するため。
- ④ 本協会実施の学生援助プログラムの案内や参加の際の連絡手段のため。
- ⑤ 報告書、お礼状、近況報告等を事前に受給者本人からの承諾を受けた上で、本協会及び奨学金寄付者のホームページ等において広報目的に利用するため。

16 応募・推薦書類の提出先・問い合わせ先

公益財団法人日本国際教育支援協会 学生支援部 国際教育支援室
〒105-0003東京都港区西新橋1-13-1 DLXビルディング12階
TEL:03-5454-5274 FAX:03-5454-5242 E-mail: ix@jees.or.jp

以上

令和2年度JEES・ソフトバンクAI人材育成奨学金 願書 (ソフトバンクAI人材育成スカラーシップ)

令和 年 月 日

公益財団法人 日本国際教育支援協会 理事長 殿

申請者署名
(自筆)

私は、本奨学金の募集・推薦要項の全記載内容に同意・了承の上、令和2年度JEES・ソフトバンクAI人材育成奨学金(ソフトバンクAI人材育成スカラーシップ)奨学生として採用願いたく、下記記載事項に相違ありませんので、ここに申請いたします。なお、奨学生として採用された場合は、本奨学金を辞退して他の奨学金を受給することはいたしません。

● 氏名

	氏	名
フリガナ		
漢字		
ローマ字		

写真

最近6ヶ月以内に撮影したもの。
タテ4.0cm×ヨコ3.0cm、
上半身、脱帽、裏面に氏名を記入すること。

● 大学名等(支給開始時点)

大学・大学院	
研究科	専攻
修士(博士前期)課程	1 年次在籍
(年 月 入学、	年 月 卒業(修了)予定)

● 国籍・地域

● 生年月日

年	月	日
(支給開始時点で満 歳)		

● 性別

● 現住所等(※印は記入必須)

〒	-
※	
TEL:	※携帯電話:
※E-mail (PC):	
E-mail (携帯電話):	

● 他の奨学金受給・申請状況（貸与型及び一括支給型（一時金、授業料免除等）は除く）

奨学金名	支給団体名	月額	受給期間	状況 (いずれか選択)
		円	年 月 から 年 月 まで	
		円	年 月 から 年 月 まで	
		円	年 月 から 年 月 まで	
		円	年 月 から 年 月 まで	

● 学歴・職歴（高等学校卒業以降）

学校名・勤務先及び所在地	専攻分野・職務内容・地位	在学・勤務期間
		年 月 まで
		年 月 から 年 月 まで
		年 月 から 年 月 まで
		年 月 から 年 月 まで
		年 月 から 年 月 まで
		年 月 から 年 月 まで
		年 月 から 年 月 まで

● 学修・研究計画等（スペースが足りない場合、別紙（A4版）を添付してもよい）

(1) 応募理由

(2) 大学院在籍中の学習・研究計画

大学院での所属研究室名:

大学院での指導教官:

上記研究室の研究内容

(3) 今までに行った研究、勉強してきた内容を、実際に行った役割を交えて、詳しく教えてください。

(4) (3)の質問において、自ら手を動かして作った成果物※があれば、何を作ったのか、実際に行った役割を交えて、詳しく教えてください。数値的成果や、公開先、成果物を確認できるURLがあれば、併せて記載してください。※ディープラーニングを用いたチャットボット・音声認識・画像認識プログラム・機械・ロボ・電子機器、NW環境、アプリ、サーバーなど実際に作成したものであれば、何でも結構です。

(5)これまで大会やコンテストでの受賞歴があれば、その際に担った役割も併せて詳しく教えてください。受賞種目や作品名を確認できるURLがあれば、併せて記載してください。

(6)現在行っている学修・研究を将来的にどのように社会に役立てていきたいですか。

(7)ソフトバンク株式会社の事業について興味関心のある領域をその理由とあわせて教えてください。
参考: <https://www.softbank.jp/corp/business/advanced/>

(8)大学院での研究内容が当てはまる分野すべてをお答えください(別紙1)

(9)習得している/研究を通して習得するスキルすべてをお答えください(別紙2)

※データサイエンティスト協会で定義されているスキルチェックリストです。本情報については主に来年度のインターンシッププログラム検討の参考とさせていただきます。特定の習得スキルの有無によって奨学金合否を決定するものではありません。

以上

【記入上の注意】

・申請者本人が入力すること(手書きは認めない)。印刷後に署名・写真貼付し書類提出すること。印刷時に文字が切れないよう注意すること。Excelデータも提出すること。データと書類に相違が出ないようにすること。

大学名：

氏名：

大学院での研究内容が当てはまる分野すべてをお答えください。

分類	分野	回答 (主たる研究分野は○/その他該当分野は○)	
アルゴリズム	ニューラルネットワーク / Deep Learning		
	強化学習		
	教師なし学習 / 半教師あり学習		
	遺伝アルゴリズム		
	ベイズ推定 / ベイジアンモデル		
	マルチタスク学習 / マルチモーダル学習		
	その他/全般のAIアルゴリズム		
応用分野	自然言語処理	ダイアログ	
		自動要約	
		トピック分析・クラスタリング	
		機械翻訳	
		その他の自然言語処理	
	画像認識	物体認識(Object detection, segmentation)	
		顔認識・個人識別	
		人流解析など動画の分析	
		OCR / 文字認識	
		その他の画像認識	
	異常検知		
	音声認識		
	データマイニング		
その他/全般のAI応用分野			
産業分野	通信分野でのAIの応用		
	広告・マーケティングでのAIの応用		
	位置情報活用のためのAIの応用		
	スマートシティ 都市計画でのAIの応用		
	スマートビルディング 建築・ファシリティに関わるAIの応用		
	自動運転等、自動車関連でのAIの応用		
	医療分野でのAIの応用		
	その他/全般の産業へのAIの応用		
ハードウェア・インフラ	並列分散処理		
	大規模データ処理		
	高速演算処理 (アルゴリズムのHW最適化など)		
	エッジデバイスでのAI処理 (最適化、モデル圧縮など)		
	半導体		
	ロボティクス		
	その他/全般のAI向けハードウェア/インフラ分野		
その他	その他のAI分野		

大学名： _____ 氏名： _____
 習得している/研究を通して習得するスキルすべてをお答えください。
 ※一般社団法人データサイエンティスト協会 スキルチェックリストより引用

スキル	スキルカテゴリ	回答	
データエンジニアリングカ データサイエンスを意味のある形に使えるようにし、実装、運用する。	環境構築		
	データ収集		
	データ構造		
	データ蓄積		
	データ加工		
	データ共有		
	プログラミング	Python	
		R言語	
		Ruby	
		Matlab	
		Haskell	
		Java	
		Julia	
		JavaScript	
		C	
C++			
その他			
ITセキュリティ			
データサイエンスカ 情報処理、人工知能、統計学などの情報科学系の知恵を理解し、活用する。	統計数理基礎		
	予測		
	検定/判断		
	グルーピング		
	性質・関係性の把握		
	サンプリング		
	データ加工		
	データ可視化		
	分析プロセス		
	データの理解・検証		
	意味合いの抽出、洞察		
	機械学習		
	時系列分析		
	言語処理		
	画像・動画処理		
	音声/音楽処理		
	パターン発見		
	ビジネスカ 課題背景を理解した上で、ビジネス課題を整理し、解決する。	最適化	
行動規範			
論理的思考			
プロジェクトプロセス			
データ入手			
データの理解・検証			
意味合いの抽出、洞察			
解決			
事業に実装する			
活動マネジメント			
知財			

令和2年度JEES・ソフトバンクAI人材育成奨学金 推薦書 (ソフトバンクAI人材育成スカラーシップ)

令和 年 月 日

公益財団法人 日本国際教育支援協会 理事長 殿

大学名 _____

学長名 _____ 公印

下記の者は、本学において審査の結果、令和2年度JEES・ソフトバンクAI人材育成奨学金(ソフトバンクAI人材育成スカラーシップ)の奨学生として適格であると認めたので、「令和2年度JEES・ソフトバンクAI人材育成奨学金(ソフトバンクAI人材育成スカラーシップ)募集・推薦要項」に基づき、関係書類を添えて推薦します。

なお、奨学生として採用された際は、本学による送金手数料等の負担を含め、奨学金支給事務に協力します。

記

● 推薦する学生の情報 (支給開始時点)

	氏	名	国籍・地域
(フリガナ)			
漢字			
ローマ字			
学籍状況	研究科 _____ 専攻 _____		
	修士(博士前期)課程 _____ 1 年次在籍 (_____ 年 _____ 月 入学 / _____ 年 _____ 月 卒業(修了)予定)		

● 推薦理由 (スペースが足りない場合、別紙(A4版)を添付してもよい。)

推薦者所属先 (研究科/専攻)	職名	氏名	印
--------------------	----	----	---

● 大学担当者連絡先

住所	〒 _____		
部署	電話		
氏名	E-mail		

学内での応募数 _____ 名 ※今後の参考のため、学内での応募人数をご回答ください。

家 庭 調 査 書

申 請 者	所 属	学 群 _____ 学 類 _____ 年 次 _____	
	学籍番号	_____	性別 男・女 _____
	フリガナ	_____	
	氏 名	_____	_____
		課程 _____ 研究科 _____ 専攻 _____ 年次 _____	現住所 _____ TEL () _____
			家族住所 _____ TEL () _____

家 族 及 び 所 得	就 学 者 を 除 く 家 族	続柄	氏 名	年 齢	職 業	在職 期 間	勤 務 先 名 称	給与所得の収入 金額 (税込)	給与所得以外の 所得金額		
		父				年		万円	万円		
		母					年		万円	万円	
		父または母 死亡・離別の場合		時期 (年 月)		理由 ()					
		主たる家計支持者無職等の場合		時期 (年 月)		理由 ()					
						年		万円	万円		
						年		万円	万円		
						年		万円	万円		
						年		万円	万円		
	別 居 者 に ○ 印	就 学 者	続柄	氏 名	年 齢	学 校 名	設置者別	学校種別	通学別	控 除 額	
本人					筑波大学	国立		※自 宅 自 宅 外	万円		
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅 外	万円		
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅 外	万円		
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅 外	万円		

家 庭 の 特 殊 事 情	特別控除項目	控除有無	
	障害者がいる世帯	※有・無	続柄 () 氏名 () 手帳番号 ()
	その他		

本 人 の 状 況	家庭からの給付	月額 (千円)		認 定		
	アルバイト	月額 (千円)	内容 ()	総収入金額	① 万円	
	奨学金	受給中	月額 (千円)	団体名 ()	必要経費	② 万円
		申請中	月額 (千円)	団体名 ()	特別控除額	③ 万円
	その他の収入	月額 (千円)	内容 ()	総所得金額	④=①-②-③ 万円	

学 業 成 績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平 均 値	収入基準額	世帯人数	人
		大学 (院)	A	-	B	C	-			⑤	万円
	修得単位数または科目数								家計充足率	⑥=④÷⑤×100	

- (注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
 2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。
 (父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
 3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。
 (父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
 4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
 5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあっては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあっては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。